

(公社) 日本地すべり学会新潟支部 支部総会・シンポジウム
「最近の地すべり災害及び調査技術 若手とベテランによる調査・研究報告」

開 催 報 告

2024年5月24日(金)、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」において、2024年度支部総会と第48回地すべりシンポジウムが開催されました。シンポジウムの参加者は対面とオンライン合わせて約100名でした。

今回のシンポジウムは「若手育成」をテーマとして、7編の発表がありました。発表は2部構成となっており、第1部は新潟支部の2023年度学生・院生対象研究助成に採択された若手による成果報告、第2部は民間企業の若手とベテランがタッグを組み、地すべり災害に関する調査や調査・計測技術、対策工の維持管理・検査技術に関する事例をご報告頂きました。プログラムは以下のとおりです(敬称略)。

第1部 2023年度学生・院生対象研究助成の採択者による成果報告

「糸魚川市来海沢地区の融雪地すべりを対象とした有限要素解析」

群馬大学 福田蒼太

「新潟県糸魚川市・上越市で発生する流動型地すべりの基岩・風化土層の地質・土質的特徴」

新潟大学(現在:国土防災技術(株)) 相場菜摘

「福島県滝坂地すべり地の地下水に関する水文地質学的研究」

新潟大学 清瀬莉花

第2部 最近の地すべり災害及び調査技術 若手とベテランによる調査・研究報告

「糸魚川地区で発生した地すべりの形態と地質」

(株) 興和 大塚洋之

「広田地すべりにおける能登半島地震時の観測データとその考察」

(株) 日さく 沼澤輝久・竹内 均

「地すべり防止施設の維持管理におけるデジタル技術活用についての考察」

日本工営(株) 寺本圭吾・古澤明里朱・福島尚志・佐志啓未・山口裕二・草谷恭行

「斜面管理における新技術の紹介～クリノポールとVIBRES®～」

応用地質(株) 山田靖司・神田広信・新部貴理・大曾根啓介

今回の発表を通じて、デジタル技術や柔軟な発想を活かし、先輩から伝承された知見や技術を更に発展させていこうという若手の熱意を感じることができました。若手技術者・若手研究者の今後のご活躍を期待します。

(文責:新潟支部副幹事長 渡部哲也)



シンポジウムの様子



意見交換会の様子(アートホテル佐渡の間にて)